

環境学研究科 地震防災マニュアル (案)

避難場所：

地震発生

身の安全の確保

揺れている最中は、身の安全の確保が最優先（特に頭部）

逃げ道の確保

ドアを開ける

実験室の安全確保

※事前に各研究室単位で対応マニュアルを作成

ガスの確認

ガスの元栓を遮断

ガス漏れがないことの確認

ガスボンベ(特に酸素)の元栓遮断
ドラフトチャンバーの防火シャッター遮断
オープン・電気炉の電源遮断
配電盤のブレーカー遮断
その他電源・火気の確認
けが人の応急処置
消せない火災は消防へ電話 など

部屋から出る

本マニュアル・名簿を持参

飲料水を持参

学生等の安否確認

学生居室

実験・実習室

エレベータ

留学生の安否確認

避難誘導

避難場所・経路を指示

周辺のケガ人の確認

(火災発生時) 防火扉

ケガ人への対処

避難

(非常口から) 建物外へ脱出

指定場所へ避難

- 軽度のケガの場合は避難場所へ連れて行く
- 事務室に常備されている救急用品を活用する

避難場所での情報とりまとめ

名簿で確認
名簿掲載者外のリスタアップ

不在教員の指導学生の安否確認

部局単位でとりまとめ

避難場所での待機を指示
(建物内には戻させない)

報告・連絡

環境学研究科災害対策本部へ報告

※このマニュアルは、地震発生直後（約1時間）に慌てずに行動するためのものです。初期消火、救助等は必要に応じて行って下さい。